資料 1-3

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：　　愛知医科大学病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。（令和８年５月１日現在）

１．病院の機能及び医師等の配置

項　　目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕エピペンの使用に当たって，講習会を開催し，受講者が取扱いできるように教育している。 患者や看護師に，吸入指導教育を行っている薬剤師が複数名所属している。	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数数	うち指導医数
内科	9	4	2
小児科	3（内、非常勤 3）	1（内、非常勤 1）	0
皮膚科	1（内、非常勤 1）	0	0
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	0	0	0

２．アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

		実　　績（令和７年度）			今　後　の　予　定（令和８年度）		
		診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	講演会等	内科	医療従事者	第 74 回日本アレルギー学会総会（10 月）座長、演題発表（伊藤理）	内科	医療従事者	第 7 回日本喘息学会学術大会（7 月）シンポジウム（伊藤理）
		内科	医療従事者	第 7 回日本アレルギー学会東海地方会（3 月）座長（伊藤理）・演題発表（磯部）	内科	医療従事者	第 66 回日本呼吸器学会学術講演会（4 月）教育講演（伊藤理）
		皮膚科	医師	AD 治療のベストユースを考える会（2025.7.16）講演			
		皮膚科	医師	アトピー性皮膚炎・乾癬を深く学ぶ～エビデンスと臨床から導く改善策～（2025.9.22）講演			
	他	内科	医療従事者	第 6 回日本喘息学会学術大会（8 月）座長（伊藤理）			
		皮膚科	医師	アトピー性皮膚炎 Symposium 2026 -BIO&JAK の使い分けを考察する-（2026.3.19）講演			
人材育成	研修会等	内科	市民	愛知県アレルギー講演会・名古屋市（９月）講師（伊藤理）	内科	医療従事者	第 69 回日本アレルギー学会専門医認定教育セミナー（6 月）責任者・講師（伊藤理）
		内科	医療従事者	第 12 回総合アレルギー講習会（3 月）講師（伊藤理）	内科	市民	愛知県アレルギー講演会・一宮市（10 月）講師（伊藤理）
		内科	医療従事者	アジア太平洋呼吸器学会 APSR Assembly Webinar（10 月）講師（伊藤理）			
	他						
助言指導		内科	医療従事者	愛知県公害健康被害認定審査会委員　会長（伊藤理）	内科	医療従事者	愛知県公害健康被害認定審査会委員　会長（伊藤理）

３．アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実　　績（令和７年度）	今　後　の　予　定（令和８年度）
診療	内科：自己免疫性肺胞蛋白症に関しては、「愛知医科大学病院肺胞蛋白症センター」を設立して、症例の集積、治療を行っている。 数多くの呼吸器アレルギー疾患、薬剤性肺障害症例の治療、管理を行っている。 小児科：小児気管支喘息，アトピー性皮膚炎，食物アレルギー，アレルギー性鼻炎・結膜炎，慢性蕁麻疹など小児における全てのアレルギー疾患に対する適切な診断と治療。 皮膚科：アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギー性皮膚科疾患の診断、治療 耳鼻いんこう科：アレルギー性鼻炎、アレルギー性真菌性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎、好酸球性中耳炎などの疾患に対する診断、治療を一般診療の中で行っている。	前年度までの活動を継続する。
研究	内科：上記に関する臨床研究を行っている。 小児科：小児気管支喘息における生物学的製剤の臨床的有効性と安全性の検討 小児科：難治性アトピー性皮膚炎の背景因子の検討と治療法の確立 小児科：食物アレルギーにおける安全な経口免疫療法の確立 小児科：小児アトピー性皮膚炎の新しい治療薬の有効性と安全性の検討	前年度までの活動を継続する。

４．アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

小児科：慢性蕁麻疹（特発性血管性浮腫）との鑑別が必要な遺伝性血管性浮腫の診断